

授業改善プラン

3年 教科（特別支援 桃組）

【目的】

- 生徒の課題を分析し、適切な指導方法の工夫、改善を行う。
- 生徒、保護者に課題、改善の取り組みを明示し、学校と一体になって学力向上へ向けた取り組みを行う。

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。

観 点	1 学期		2 学期		3 学期
	課題分析	具体的な改善プラン	課題分析 (授業分析・プランの一次評価)	一次評価後の 具体的な改善策	改善プランの評価 来年度に向けて
自然事象への関心・ 意欲・態度	○観察ができ、それをまとめることができる。	・観察したことや体験したことを、時間内にまとめさせる。	○自分の課題に気づき、意欲的に取り組むことが出来た。	・探求心や物を調べようとする事ができるようになって来ている。パソコン使用が課題である。	
科学的な思考・表現	○規則性や関連性を見つけることは課題である。	・観察や実験を行う前に、基礎となるポイントを理解させる	○自分で考える力がついてきている。それを表現するには課題がある。	・疑問に思ったことを、ノートにまとめた力をつけさせた。	
観察・実験の技能	○目的意識をもって観察を行うことが出来る。	・実験を多く取り入れることにより興味も引き出したい。	○手先の器用さには、まだ課題があり、これからの指導していきたい。	・色を塗ることが上手になった。作業時間を考えて進めることが課題です。	
自然事象についての 知識・理解	○植物についての知識を身に付けた。 ▲、知識が正しく身に付けられていない。	・復習の時間やテストによって基本的な知識の定着を図りたい。	○学習する習慣が身に付いてきている。自分で計画を立てることは課題である。	・テストでできなかったところの復習が自主的にできるように声をかけていきたい。	
授業改善の検証方法	・授業で学習したことをもう一度家庭で学習し、次の授業で復習テストを行うことで定着を図る。		・家庭学習ができるようになってきています。自分で課題をみつけて計画を立てることが出来るように指導をいれていく。		

小中一貫教育の視点	具体的な取り組み (交流・連携等)	1 学期の成果と課題	1 学期の成果を踏まえた 具体的な改善、追加事項	2 学期までの 成果と課題	1 年間の成果と 今後の課題
自分の力でたくましく 生きぬく子の育成 ～9年間の継続的な一貫性 のある指導を目指して～	・体育のプール指導を 出前授業で行った。	・計画的に余裕を持って プールに入れたことで 十分交流することが出来 た。	・大中で一日体験をした ことで、中学校生活の流 れを体験できた。今後も 何回か続けていきたい。	・一度の体験では不安と のこと、3 学期にも 2 回 ほど体験する日を増やし 安心させたい。	